

編集部の
授業見学レポート

教材名

「学び」の本質を探ろう

教科書

3 年 P.160~163

実践者

見目慎也 先生
千葉大学教育学部附属中学校 教諭

内容項目

A（5）真理の探究、創造

授業見学にあたって

◆本質観取は、哲学対話の一種で、生徒の経験を基にした対話が授業の中心となります。これまで、なかなか本教材を扱っている授業を見学する機会がなかったので、どんな展開になるのかと、どきどきしながら見学いたしました。生徒が存分に自分の経験を語ることができるのか、そこから仲間とキーワードを見いだして本質を言葉にできるのか。そんなところに注目しながら、授業を見学しました。

授業の概要

- ◆生徒数：30 人程度
- ◆教材のあらすじ:前時に、「31 私の再出発」（希望と勇氣、克己と強い意志）という、81 歳の女性が夜間中学校で学ぶ日々を綴った作文を基にした教材について考えています。それを受け、本教材では、まずグループになって、各自が「ああ、今、自分は学んでいるな」と実感できた経験を出し合います。そこからグループのみんなの経験に共通するキーワードを見いだして、「学び」の本質をまとめる活動に取り組みます。

当日の授業の流れ

	学習活動／先生の発言／生徒の発言・様子	編集部のまなび／指導の工夫
導入	前時を振り返る。〈2 分〉 ●前回を踏まえて、今日は、『『学び』の本質とは何だろう』ということを考えていきましょう。今日は何を学ぶのかな。(22 のキーワードを確認しながら)	◆教科書 P.8・9「道徳の学習を始めよう」を、スクリーンに映して提示し、本時の内容項目「5 真理の探究、創造」に○を付けていた。
展開	「学び」とは、どういうものか、教科書 P.160・161 のヒントを基に考える。〈13 分〉 ●教科書の 1 から 9 までのヒントを参考に、まずは個人で『『学び』の本質』について考えてみましょう。 ・（問い 1）情報を身につけるため／（問い 2）みんなのため／（問い 3）永遠にするもの／（問い 4）違う、一人でするもの／（問い 5）ちょっと違う／（問い 6）歯車／（問い 7）生きにくくなる／（問い 8）新しいことを知ったとき／（問い 9）疲れるけど理解できたら楽しい	◆教科書 P.160・161 の九つの問いを丁寧に扱っていた。 ◆相づちを打ちながら、Google Slide に記入された答えを読み上げ、気になるものがあれば立ち止まり、質問をしていた。
	どんなときに「学んでいる。」と実感したか、経験を出し合う。〈10 分〉 ●どんなときに「学んでいる。」と実感しますか。具体的に、Canva に書いてください。 (話し合いながら、各自 Canva に記入する。) ●この後は、お互いに突っ込み合ってもらいたいと思います。 (生徒どうして質問し合うほか、先生も生徒の経験に質問をする。)	◆質問し合うことを「突っ込み」と表現し、先生が「突っ込み」の見本を見せてから話し合いに入った。 ◆生徒たちは、予想以上に、経験を出し合い、話し合っていた。

	・前までわからなかったことができるようになったとき、成長したと思う。 ○成長したときって、どんなとき？ 例えば、何ができたの？ ・料理とか。	
	グループで出し合った経験に、何か共通することがないか、キーワードを探る。〈10 分〉 ●グループで出し合った経験に、何か共通することがないか、キーワードを見つけてください。 ・「やれ」って言われてやるのは勉強。言われなくて、自分から進んですると、学んでるって感じ。 ・学びの中に勉強もある。学びの中にはおもしろいものもある。 ○……ということは、勉強は楽しくない？ ・楽しくない、かな……。 ・考えなくてもできるやつは学びでも何でもない。作業。 ・知りたい気持ちがあるかないか、かな。 ○それがキーワードじゃない？	◆先生が各班を回りながら、生徒の話し合いに参加し、質問をし、考えを引き出そうとしていた。先生もいっしょに議論することで、生徒たちの話し合いも活性化していた。ここには、一部しか掲載していないが、先生は、全ての班を回り、それぞれの班で対話に参加していた。
	みんなが納得できる「学び」の本質をグループでまとめる。〈10 分〉 ●みんなが納得できる「学び」の本質の定義を作っていきましょう。 ●班ごとに発表してください。 ・「学び」とは、自分自身を成長させるものである。成長させないものは、学びではない。 ・「学び」とは、どこかで生かすためのもの。 ・「学び」とは、人生をより豊かに生きやすいようにするもの。 ・「学び」とは、知りたいものを調べたり、追求したりするもの。 ・「学び」とは、互いに成長し合い、より豊かにし合うもの。 ○「互いに」って入れたのは、なんで？ 一人じゃだめなの？ ・対人関係に学びがあるって思ったから。 ・「学び」とは、何らかの形で知識を身につけること。 ・「学び」とは、意欲があればいつでも得られて、ただ能力を得るだけでなく、活用して生かせたときに学びと言える。 ・「学び」とは、成長して今後に生かせるもの。 ○じゃあ失敗は？ 生かしても、失敗することもあるでしょ？ ・失敗も学び。その失敗を生かして成長できるから。	◆キーワードがいくつもあって、一文で本質を言い表すような表現をするのに迷っている班もあったようだった。そのような班に対しては、先生がさらにキーワードを取り出すなどしてサポートしている姿が見られた。 ◆班ごとの発表を順番に聞くにとどめた、あっさりとした学級全体での共有だった。ここまでに各班がどんな過程を経て『『学び』の本質』に行き着いたのかを、先生自身が把握していて、生徒たちが班で話し合って練り上げた『『学び』の本質』を尊重しているからこそその展開だった。
終末	本時の学習とこれからの生活のつながる点を考える。〈5 分〉 ●「学び」の本質を考えたことは、あなたのこれからと、どんなところがつながるでしょうか。(ワークシートへの記入) ・学びは学問面だけではなく生活の中にも隠れているので、何かを学ぼうと疑問をもつことを忘れずにいたい。 ・普段の何気ないことでも学びにつながるのだとわかった。 ・自分が成長しないと学びではない。そう思うと、勉強でちゃんと学びになったなと思う場面は少ないと思った。毎回学びを得られるようにしたい。	◆問いを工夫し、明確な観点を示すことで、話し合っただけで終わらずに、話し合った内容について、生徒自身の中で価値付けることができていたように感じた。

●…先生の発言
○…生徒の発言に対する先生の問い返し・揺さぶり
●…先生による発問・活動指示
○…生徒の発言・様子

(授業見学日：2025 年 10 月 2 日)